



波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター
〒213-0033 川崎市高津区下作延5-11-8
E-mail suportto731a@luck.ocn.ne.jp
URC <http://www16.ocn.ne.jp/~srmi/>

文科省委託研究・運営協議会



11月18日(水)教育会館で第2回運営協議会を行いました。委員長に帝京大教授「岡田 守弘氏」、副委員長に元神奈川県警察本部相談・保護センター所長「新倉 アキ子氏」が選出されました。

運営委員には臨床心理士、スクールカウンセラー、総合教育センター、市教委、児童相談所、PTA 連絡協議会、中学校生徒指導担当教員、小学校児童指導担当教員、サポートセンター職員と各界のベテランがそろい大変内容のある協議会でした。

今年度は、不登校、暴力行為、いじめ、外国籍、発達障害等の22事例の調査研究を行う。

岡田先生からご指導いただきました。

- (1) 学校でできないことがサポートセンターで独自にできるということが重要である。そこから学校へ何が還元できるかである。
- (2) 事例のまとめの形式として具体性・継続性・相互性が示されている。子どもと指導者の相互性の中で子どもの行動性を粘り強く教育する。
- (3) 子どもの存在が失われている。集団や他の行動を期待しないで取り組めるところに意味がある。
- (4) ふれあい活動での活動を今後取り組みの中で生かすが必要である。



不登校パネルディスカッション



11月14日(土)川崎市総合教育センターで「不登校についてのパネルディスカッション」が60人の参加のもと行われました。

<パネリスト>

- (1) 保護者・市民の立場 北澤 美子氏
- (2) 学校教育の立場 川崎市立宮崎中学校教諭 町田 覚氏
- (3) 学習支援者の立場 サポートセンター 石原 由美子氏
- (4) 教育相談者の立場 総合教育センター指導主事 尾立 秋彦氏

避難訓練

12月2日(水)今年度第2回めの「学習担当者全体会」を行いました。普段、教える曜日・時間帯が違いお互いの連絡や情報がとれないため、学習に対する問題点や個々のケースについて話し合いました。終了後、36人参加して懇親会をもち、盛り上がりました。

また、当日「自然災害(地震・風水害)時の児童生徒の安全確保」について、子どもが家にいる時、サポートセンターへいる時等を想定して研修会をもつと同時に避難訓練を行いました。



文科省委託研・カリキュラム委員会

現在カリキュラム委員会では、事例研究者の対象22事例のまとめ作業を行っています。各事例をまとめるにあたっては、元玉川大学教授の渡辺 康彦先生の「自己形成史分析」のまとめ方により、指導者と子どもの活動場面を具体性・継続性・相互性の3つの視点、すなわち目に見え、耳で聞こえる客観的な事実を具体的な言葉で、時間の流れ、時間の経過という順番で、相手と自分の行動をできるだけ交互に客観的な事実として記録する。

この記録した会話や行動の様子、感情の変化などを分析し検証することによって今後の適切な指導の資料とする。



12月行事予定

| 日 | 曜 | 主な行事 |
|----|---|--------------------------------|
| 1 | 火 | 事務局会 川崎区子育て支援 |
| 2 | 水 | 学習部全体会・懇親会 避難訓練 |
| 4 | 金 | 川崎区子育て支援事業 |
| 8 | 火 | 川崎区子育て支援事業 中原区子育て支援 |
| 9 | 水 | 役員会(AM教育会館) 放課後おもしろクラブ(音・図) |
| 11 | 金 | 川崎区子育て支援事業 |
| 12 | 土 | 輝け☆明日の先生の会 教育史編集委員会 |
| 15 | 火 | ふるさと館調整会議 川崎区子育て支援 |
| 16 | 水 | 放課後おもしろクラブ(理科) カ文科省リキュラム委員会 |
| 17 | 木 | 第3回サポーター研修 |
| 18 | 金 | 川崎区子育て支援事業 |
| 19 | 土 | 新しい学校づくり☆川崎塾 |
| 22 | 火 | 放課後おもしろクラブ(音・図) 川崎区子育て支援事業 |
| 25 | 金 | 川崎区子育て支援事業 |
| 28 | 月 | 仕事納め |
| 29 | ～ | 冬期休業 |
| | | 1月4日 仕事始め |

秋の叙勲

おめでとうございます。

理事長「井口 衛先生」と副理事長「田中 庸之先生」が秋の叙勲瑞宝章を受章されました。サポートセンター職員一同大変光栄に思い喜んでおります。本当におめでとうございます。

編集後記

師走にはいりサポートセンターでは、文部科学省の委託研究のまとめ、研究発表会の準備等々大変忙しい毎日を送っています。

サポートセンターの事業も皆様のご指導とご援助をいただき充実発展しました。ありがとうございました。